

自宅・会社よ
はかどる

斬新なアイデアも
生まれる!

昼寝とシャワーも可能で
夕方にはビールが飲み放題

超厳選! いま注目の 「個性派 シェアオフィス」

自宅だと仕事はかどらないんだよな……。リモートワークが求められる昨今、こうした悩みを持つ人たちも多いのではないだろうか。そんな「自宅仕事」が苦手な人たちの強い味方がシェアオフィスだ。様々なタイプのものが登場しているが、ここではその中でも選りすぐりの「個性派シェアオフィス」を3つ紹介する。

取材・構成: 坂田博史

.andwork

ホテル一体型で 非日常感を味わえる

「andwork渋谷」は、デザイナーズカプセルホテル「The Millennials渋谷」内にある。ホテル4階にあるロビーラウンジは近未来的な内装デザイン。外国人の利用客も多く、まるで海外に行ったかのような非日常感も味わえる。



毎日17時30分～18時30分はビール飲み放題(1日利用とマンスリーブプランの場合のみ)。ホテルの部屋で仮眠(1時間1,200円)やシャワー利用(300円)が可能なのも、ホテル一体型ならではの。

集中して仕事をしたいときには、3階のワークラウンジが便利。「andwork渋谷」の利用料金は、1時間1,000円(1日利用は3,000円)。マンスリーブプランもあり。渋谷の他に、麻布十番、川崎、京都、大阪、福岡、沖縄の全国7カ所で展開。

最初に紹介するのが、東京・渋谷にあるandwork。最大の特

徴は、ホテル併設型のシェアオフィスである点だ。4階のホテルラウンジが、コワーキングスペースにもなっている。運営する(株)グローバルエージェンツの奥山滉太氏は、こう話す。

「海外では、デザインを重視したライフスタイルホテルのラウンジが、多くのクリエイターたちの仕事場として親しまれています。くつろげる居心地の良さと共に、洗練されたデザイン空

間ならではの刺激がインスピレーションを与えてくれるからでしょう。実際、当施設も企画職やクリエイターの方の利用が多いですね」

一方で、3階にはワークラウンジもあるので、作業に集中したいときはそちらへ。そのときの気分や作業内容で、フロアを使い分けることが可能だ。

ユニークなのは、ホテルの部屋での仮眠(パワナップ)やシャワー利用が可能なこと。頭と身体をさっぱりさせれば、集中力が高まること確実。営業時間が8時から24時までと長いのも、ホテル併設型ならではの。

また、ラウンジには、コーヒーや紅茶が自由に飲めるドリンクバーだけでなく、自由に使えるキッチンもある。そして、夕方17時30分から1時間、ビールが無料で飲めるというのだから驚かすにはられない。

「私たちは、『人が集まる場』をつくることを目指しています。ビールを飲みながらなら、初対面の人にも声をかけやすい。そこから新たな出会いや交流が生まれることを期待しています」

渋谷という土地柄、ユーザーは若い人が多いのかとさえ、そんなことはなく、幅広い年齢層に利用されているようだ。非

ラボ)。最新の技術や機能を導入し、誰もが安心・快適な「働きやすさ」に徹底的にこだわったシェアオフィスだ。

例えば、ストリーマ除菌ユニットを採用し、個室内に綺麗な空気を提供。人間工学に基づいた椅子や机。鳥のさえずりや小川のせせらぎなどの自然音によるマスクキング。非接触でストレスフリー、安心感もある顔認証システム。

こうした先進機能が惜しげもなく導入されているのは、この施設を企画・運営している(株)point0という会社に秘密がある。point0は、業界や領域を超えて企業が集まった協創・共創型

コンソーシアム。そのため空調はダイキン工業(株)、オフィス家具は(株)オカムラ、音響はTOA(株)、照明・顔認証はパナソニック(株)といったように、参画各社が実証実験の場として様々な技術を提供している。point0副社長の豊登幸太郎氏は、次のように語る。

「現在、17社が参画しており、それぞれが持っている技術や知見を出し合い、『空間のあり方』に関して新たな価値を生み出すことを目指しています」

そして、リアラボ二子玉川の大きな特徴が、喫煙可能なフロ

誰もが快適な空間デザイン 喫煙可能なフロアも設置

REALab 二子玉川

エントランスおよび全個室は、顔認証により「非接触+ストレスフリー」で入室できる。初期費用なし、15分330円(税込)の従量課金制なので、使いたいときに使いたい分だけ利用可能。6月からは個人会員登録も可能に。



個室での電話やウェブ会議もOK。自然音(鳥のさえずりや小川のせせらぎなど)によるマスクングで音漏れを防止している。「REALab」は立川と二子玉川の2拠点だが、会員は東京・京都・大阪・兵庫に計7施設ある「point 0 satellite」も利用可能。



紙巻きタバコを吸える喫煙室も設置。清掃性の高い壁紙を使用、エアカーテンでドア開閉時の煙の流出を防ぐなど、細やかな工夫が随所に。
※喫煙可能なのは二子玉川のみ



アがある点。2020年4月に施行された改正健康増進法によって喫煙場所が減少する状況を受け、望まない受動喫煙を防止しつつ、喫煙するワーカーの働く環境満足度を向上させるために、日本たばこ産業(株)の知見を活かしている。

3階が喫煙フロアとなっており、加熱式タバコであれば個室で吸うことができる。紙巻きタバコも特設の喫煙室で喫煙可能。「さらに2階が禁煙フロア、3階が喫煙フロアと分かれているので、非喫煙者においなどで不快に感じる心配もありません。

喫煙フロアの利用者は、平均利

用時間が長い傾向があり、「他の施設にも広げてほしい」といった声もいただいています」

そう語るのには、事業パートナーである三菱地所リアルエステートサービス(株)の伊藤英利氏。喫煙しながらのほうが作業がはかどるという人にとって、貴重な場となっているようだ。

※

個性派シェアオフィスは、ここで紹介したもの以外にも、いろいろと登場している。あなたに最適なものを探して一度利用してみてもどうか。会社や自宅では生まれない斬新な発想やアイデアが生まれるかもしれない。

アントレサロン

シニア独立の強い味方! 起業相談・交流会も充実



月額9,505円(初期費用なし)のフリーデスクプランでは、東京・神奈川・埼玉の10拠点14店舗のフリーデスクが利用可能。商談・打ち合わせができるオープンラウンジ(写真右)も利用無料(予約も不要)。



各拠点で毎月交流会を開催。会員の多くが起業家(1人社長)または起業予定者のため、貴重な情報交換・人脈形成の場となっている。起業に役立つセミナーも毎月開催。

追加料金なしで、住所利用、法人登記、受付対応(スタッフ常駐)、郵便物の受け取りも可能。銀座といったブランド力の高い住所を自社の住所として使えるのも嬉しい。

「こうした創業支援の実績が認められ、銀座店、新宿店、渋谷店は東京都のインキュベーション施設に認定されており、利用

ビスも行なってくれる。このため自分一人で法人を設立し経営する「一人社長」や、それを目指す独立予定者の利用が多い。アントレサロンは、東京・神奈川・埼玉に10拠点14店舗を展開しているが、各店舗で毎月起業家交流会やセミナーを開催。貴重な情報交換、人脈形成、販路開拓などの場となっている。また、起業を支援する専門家が全店舗に常駐しており、無料で起業相談にも応じてくれる。

者は返済不要の助成金を申請できるなどの利点があります。また、渋谷店、横浜店、川崎店は各自自治体の創業支援事業計画の認定施設となっており、利用者は会社設立時に必要となる登録免許税が半額になります」

最後に紹介するのが、東京・二子玉川にある「REALab(リア